



“I J U 応援団だより” では、第 2 号より I J U 応援団のみなさんを個別に掲載していきます。今回は、^{しんとうちいきしんこうきょうぎかい}神東地域振興協議会です！！

+++++



由宇町神東地域ってどんなところ??

神東地域は、人口 777 人、世帯数 323 戸（H20.1 現在）で、穏やかな瀬戸内海と緑に恵まれた由宇町の南部に位置します。気候温暖な風土、自然環境の良さ、地理的な利便性が魅力です。平野部は比較的少なく、棚田の美しい人情味あふれる地域です。

+++++

神東地域振興協議会では、『地域のことは地域で解決していこう』と同協議会に振興部を設置し、“5つのプロジェクト”に取り組んでいます。

- 竹林伐採・竹活用プロジェクト
- 子どもにとっての安心・安全プロジェクト
- 地域の安心・安全プロジェクト
- 地域の保全景観プロジェクト
- ふるさとの誇りプロジェクト

また、現在、県の『住み良さジャンプアップ協働研究事業』に採択され、神東出身者のUターンを促進するための調査研究に取り組んでいます。

～ 神東東地域振興協議会からのメッセージです ～

昨年 12 月、地元出身者（50 歳～62 歳：約 80 人）を対象に、Uターンに必要な条件や支援策を尋ねるアンケートをしたところ、回答数は 24 人で、内 6 人の方がUターンを考えていると回答しています。どのような条件や支援があれば良いかとの質問には、介護施設や医療施設が近くにあること 交通手段が充実していること 住宅の確保支援があること 働く場所があること 相談窓口があること 農業や漁業の技術指導などいろいろな内容が書かれていました。また、Uターンを考えていない方の意見として、現在の場所に愛着があり、便利である 帰ってきて人間関係をつくるのが困難である 地域にとけ込めない 住宅がない 仕事がないなど、なかなか難しい問題が指摘されていました。今後、これらの問題をどのように解決し、定住の受け皿として地域をつくっていくのか・・・今年 3 月までに提案としてまとめる考えです。

私たち振興部では、現在 6 人のメンバーで地域づくりを検討しています。他の応援団の皆様、是非、情報交換会をしましょう。

活動風景



竹林整備～竹林伐採・竹活用プロジェクト～



万歳ロード整備

～子どもにとっての安心・安全プロジェクト～

新規登録された応援団とUターン体験者を紹介します！！

『^{しま}四季の味 ^{あじ}山代の里 ^{やまし} (本郷町本郷) ^{さと}』



組合員のみなさん



はっきりした目的を持つこと、目的さえ持っていれば乗り越えられます。一番いいのは「田舎が好き」であることだと思います。「好きこそ物の上手なれ」です。

柳村 東さん
岩国市由宇町神東在住
平成 14 年三重県からUターン



～ 相談員ぶらり日記 ～

向井さんご一家が周南市から周東町三瀬川へUターンされました

向井さんは、三瀬川特産の自然芋栽培を中心とした有機農業就農希望者として、周南市で研修しながら働いておられました。周東町三瀬川で家族3人で生活するために、農業支援策を知りたいという相談があり、ご本人を交え、県・市・農業団体と協議の上、県の就農事業政策により認定就農者として認定してもらい、最終的には新規就農候補者として就農されることとなりました。ようこそ岩国市周東町へ!!

お知らせ

UJIターンの取組として、IJU応援団の今井さんと神東地域振興協議会振興部などが中国新聞（1月7日付）で取り上げられました。

記事では、広島市からIターンされた今井さんの『地域に恩返しを』と地域の草刈りや野菜市の世話、柿畑の手入れ、ふれあいサロンの世話役など多忙な毎日をご過ごされていること、『後に続く移住希望者の力になれば』とIJU応援団に登録されたことが紹介され、神東地域振興協議会振興部は、今回の応援団だよりで紹介させていただいた、地域づくりのためのプロジェクト事業の一環として、地元出身者にアンケートをしてUターンに必要な条件や希望する支援策を調査・研究されていることが紹介されました。

『ゆめ育てませんか』 - 就農までのみちすじ -

(財)やまぐち農林振興公社を中心に県・市町・農業団体が連携して就農相談から就農後の経営安定までの一貫した支援を行っています。

市農業振興課でも、“本格的”に農業で生活を考えておられる人に対して、県やJAと共に支援事業を行っています。

編集後記

岩国市内あちこちで、たくさんの人の和が繰り広げられているのを、探し歩いて見つけました。好い話をご存知でしたら、教えてください。

輝いている皆さんをもっともっと紹介していきます。

次回発行予定は4月です。お楽しみに。(石高)

